



SPEAKER SYSTEM/SYSTÈME DE DIFFUSION/SISTEMA DE ALTAVOCES/
АКУСТИЧЕСКАЯ СИСТЕМА/音箱/スピーカーシステム

VXL1B-24

VXL1W-24

VXL1B-16

VXL1W-16

VXL1B-8

VXL1W-8

VXL1B-24-WR

VXL1W-24-WR

VXL1B-16-WR

VXL1W-16-WR

VXL1B-8-WR

VXL1W-8-WR

Installation Guide

EN

Installationshandbuch

DE

Manuel d'installation

FR

Guía de instalación

ES

Guia de instalação

PT

Guida all'installazione

IT

Руководство по установке

RU

安裝指南

ZH-CN

安裝指南

ZH-TW

설치설명서

KO

施工説明書

JA

兼保証書

保証規定は巻末にあります。

English

Deutsch

Français

Español

Português

Italiano

Русский

简体中文

繁體中文

한국어

日本語

目次

はじめに	106
安全上のご注意	107
同梱品	110
オプション品	110
付属ブラケットによるスピーカーの取り付け(-WR[屋外用モデル]は除く)	111
ポートカバーの取り付け(-WR[屋外用モデル]は除く)	115
保証とアフターサービス	117

はじめに

このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、商業空間などで、音声やBGMの拡声に使用する固定設備用スピーカーシステムです。この施工説明書では、施工担当者や設備設計者向けに設置の方法を説明しています。施工の前にこの施工説明書を必ずお読みください。

また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

取扱説明書について

■施工説明書(本書)

本書は安全に設置いただくためのご注意と同梱品、基本的なスピーカーの取り付け手順を説明しています。
具体的な設置方法については電子取扱説明書(HTML版)をお読みください。

■電子取扱説明書(HTML)

オプションの金具を含めたより詳細なスピーカーの
取り付け方法や一般仕様、寸法図などを説明しています。
<https://manual.yamaha.com/pa/speakers/vxl1/>



表記について

本書では、屋外用モデルを-WRと表記します。

本製品について

VXL1は以下のモデルで構成されています。

- ・VXL1(B/W)-24、VXL1(B/W)-24-WR 24スピーカーユニット搭載
- ・VXL1(B/W)-16、VXL1(B/W)-16-WR 16スピーカーユニット搭載
- ・VXL1(B/W)-8、VXL1(B/W)-8-WR 8スピーカーユニット搭載

-WRは屋外環境でご使用いただけます。ただし、以下のような条件の場所には設置しないでください。故障の原因になります。

- ・塩害を受けやすい場所
- ・腐食性ガスの影響を受ける場所
- ・振動が多くねじの緩みなどが懸念される場所
- ・極端に高温多湿で結露が容易に発生する場所
- ・極度の低温または高温の場所、使用温度範囲を超える場所
使用温度範囲：-10° C ～ 50° C
- ・積雪や落雪が予想されるような場所

これら以外の環境において、経年劣化や故障がないことを保証するものではありません。

安全にご使用いただくために定期的に保守点検を行ってください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

お読みになったあとは、本製品を使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度により区分して掲載しています。

記号表示について

本製品や施工説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号	
禁止を示す記号	
行為を指示する記号	



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐにパワーアンプの電源を切る。

- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
 - ・製品の内部に水や異物が入った場合
 - ・使用中に音が出なくなった場合
 - ・製品に亀裂、破損がある場合
- そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

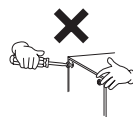
分解禁止



禁止

塗装やポートカバーの取り付け以外で、本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。



火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

聴覚障害



必ず実行

- ・ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。
- ・電源を入れたり切ったりする前に、必ず接続している機器の音量（ボリューム）を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

設置



禁止

オプション金具には、対応スピーカー以外を取り付けない。
事故の原因になります。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

設置と接続



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。



禁止

本製品を子供の手の届くところに置かない。

本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



禁止

・本製品の上に液体の入ったものを置かない。
・極端に高温多湿で結露が容易に発生する場所で使用しない。

内部に水などの液体が入ると故障の原因になります。



禁止

本製品が適合している防塵・防水性能の保護等級を超える過酷な場所に設置しない。

故障の原因になります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々か転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

取り付け工事は、必ず専門の施工会社に依頼する。また、取り付ける場合は、以下の点に注意する。

- ・配線および取り付けは、施工説明書に記載してあるとおりに行う
- ・この機器の重量に十分に耐えられる取り付け器具と場所を選ぶ
- ・継続して振動があるような場所は避ける
- ・必ず指定された取り付け工具を使用する
- ・取り付けブラケットやボルト、ネジは指定の物を使用する
- ・定期的に保守点検を行う



必ず実行

スピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。

それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

- ・本製品に重いものをぶら下げたりしない。
- ・スイッチや入力端子などに無理な力を加えない。

本製品が破損したり、けがをしたりする原因になります。



必ず実行

本製品と組み合わせて使うパワーアンプを選ぶとき、パワーアンプの出力レベルが本製品の許容入力レベル(電子取扱説明書参照)以下であることを確認する。

出力レベルが許容入力レベルを超えていると、故障や火災のおそれがあります。



禁止

アンプでクリップが生じるような過大な信号や以下のような音(ノイズ)を入力しない。

- ・マイクロフォン使用時のハウリング音
- ・電子楽器などからの大音量の連続音
- ・過度にひずんだ連続音
- ・アンプの電源を入れた状態でのケーブルの抜き差しによるポップノイズ

パワーアンプの出力レベルが本製品の(プログラム)許容入力レベルより低い場合でも、本製品の損傷、故障や火災のおそれがあります。

使用上のご注意

製品の故障、損傷や誤動作を防ぐため、以下の内容をお守りください。

製品の取り扱い / お手入れに関するご注意

極端に温度が高くなる場所、逆に湿度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところに設置しないでください。

本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。

スピーカー端子を家庭用 100V 電源に接続しない。
故障の原因になります。

ローインピーダンス接続で、スピーカーを並列接続する場合は、必ずアンプの規定負荷インピーダンスの範囲内（電子取扱説明書参照）で接続する。
範囲外のインピーダンスで使用すると、アンプの故障の原因になります。

ハイインピーダンス接続時（ST-L1(B/W)a 使用時）は、80Hz 以上のハイパスフィルターを通した信号をスピーカーに入力する。
80Hz 未満の信号を入力すると、故障の原因になります。

スピーカーユニットに触れない。
故障の原因になります。

本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
パネルの変色/変質の原因になります。

お手入れのときは、乾いた柔らかい布を使用する。次亜塩素酸ナトリウム、アルコール、ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かない。
変色/変質する原因になります。

保護回路

本製品は、自動復帰型の保護回路を内蔵しています。過大な入力加わると、保護回路が動作して、音が出なくなります。使用中に音が出なくなった場合は速やかにアンプの音量を下げてください。（数秒～数十秒で自動的に復帰します。）

バッフル前面を下にして置かないでください。

バスレフポートから空気が吹き出す場合がありますが、本製品の故障ではありません。特に、低音成分の多い音を出力する場合に起こります。

お知らせ

施工説明書の記載内容に関するお知らせ

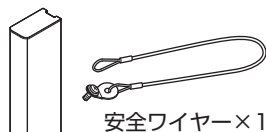
この施工説明書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。

本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

廃棄に関するお知らせ

本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。



安全ワイヤー×1

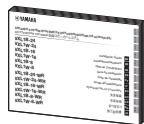


端子カバー×2

スピーカー×1

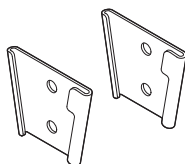


型紙×1

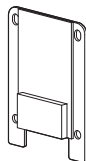


施工説明書×1
(本書、保証書付き)

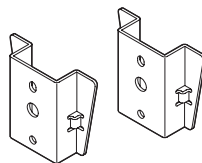
VXL1-24、VXL1-16、VXL1-8のみ
(-WR[屋外用モデル]は除く)



ブラケットベース×2
(VXL1-8のみ×1)



ポートカバー×2
(VXL1-24、VXL1-16のみ)



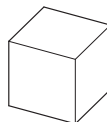
マウンティング ブラケット×2
(VXL1-8のみ×1)



ポートカバー×1
(VXL1-8のみ)



小ネジ
(M5×10)×2
(VXL1-8のみ×1)



ポートブロック×1
(VXL1-8のみ)

- ・スピーカートランス ST-L1(B/W)a
- ・壁取り付け金具 WMB-L1(B/W)
- ・垂直連結金具 VCB-L1B
- ・垂直連結補助金具 VCSB-L1(B/W)
- ・水平連結金具 HCB-L1B
- ・ポール・壁取り付け金具 PWMB-L1(B/W)-WR

付属ブラケットによるスピーカーの取り付け(-WR [屋外用モデル]は除く)

付属のブラケットを使って、壁にスピーカーを取り付けます。取り付け場所にスピーカーの重さに耐えられる十分な強度があることを確認してから、取り付けを行ってください。石膏ボードなどには取り付けないでください。

ご注意

スピーカーの取り付けは、パワーアンプの電源を切ってから作業してください。

⚠ 注意

横向きでスピーカーを取り付けしないでください。落下のおそれがあります。



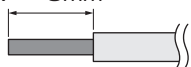
事前準備(ケーブルの処理)

使用するケーブルは、図のようにむき出して配線してください。

NOTE

断線の原因となりますので、より線を使用する場合は、はんだめっきしないでください。

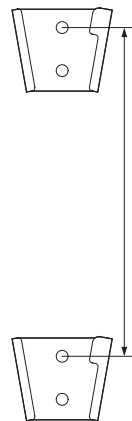
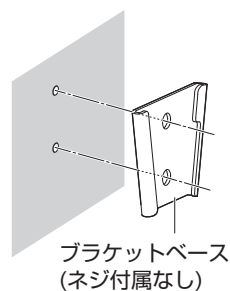
7 ~ 8mm



使用可能ケーブル(最大) : AWG12 (3.5 sq)

1 ブラケットベースを壁に取り付ける

- 1-1 型紙を壁にあてて、ネジやケーブルを出す穴の位置を決めます。
- 1-2 壁にケーブル用の穴を開け、開けた穴から アンプからのケーブルを引き出します。
- 1-3 壁にブラケットベースを取り付けます。ブラケットベースの幅が狭い方を下(床方向)にしてください。
ブラケットベースの穴径はφ 5.3mm です。



VXL1-24: 635mm
VXL1-16: 315mm

2 マウンティングブラケットと安全ワイヤーをスピーカーに取り付ける

2-1 マウンティングブラケットを、付属のネジを使ってスピーカーに取り付けます。

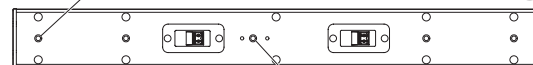
マウンティングブラケットは上下ともに 3 つ目の穴位置に取り付けてください (下図参照 / VXL1-8 のみ 1 か所)。安全ワイヤーは一番上の穴位置に取り付けます。

⚠ 注意

- ・ 付属の安全ワイヤーをご使用ください。
- ・ 付属の安全ワイヤーで長さが足りない場合は、スピーカーの重さや設置状況を考慮して適切な長さで強度のものををご用意ください。

安全ワイヤー取り付けネジ穴

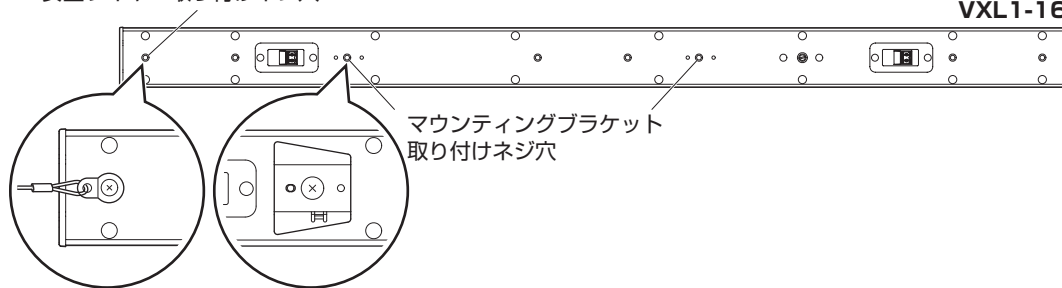
VXL1-8



マウンティングブラケット
取り付けネジ穴

安全ワイヤー取り付けネジ穴

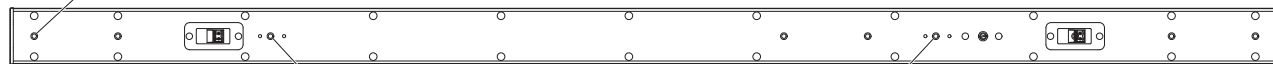
VXL1-16



マウンティングブラケット
取り付けネジ穴

安全ワイヤー取り付けネジ穴

VXL1-24



上側

マウンティングブラケット
取り付けネジ穴

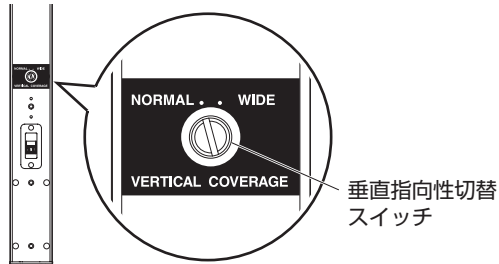
マウンティングブラケット
取り付けネジ穴

下側

3 指向性を設定する

（VXL1-24 [-WR]、VXL1-16 [-WR] のみ）

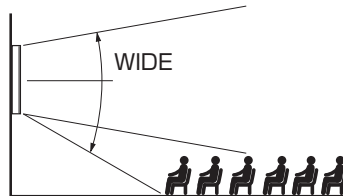
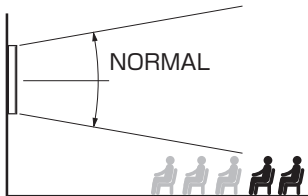
3-1 スピーカー背面にある垂直指向性切替スイッチを、マイナスドライバーを使って設定します。



このとき、下方向のカバーエリアを広げたい場合は、WIDEに設定してください。

NORMAL

WIDE（下方拡張）



4 結線をする

4-1 スピーカー本体のユーロブロックプラグを取り外します。

NOTE

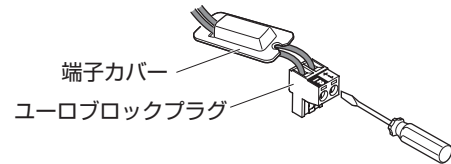
スピーカー端子は上下に2つありますが、同じものです（内部で並列接続）。どちらを使用いただいても問題ありません。

4-2 ユーロブロックプラグの端子ネジをマイナスドライバーでゆるめたと、結線部にケーブルを差し込み、端子のネジをしっかりと締め付けます。

ケーブルを引っ張って抜けないことを確認してください。

NOTE

屋外設置の場合は、ケーブルを付属の端子カバーに先に通してから結線部に差し込んでください。



NOTE

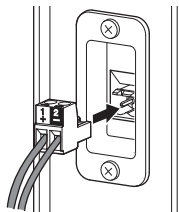
マイナスドライバーはブレード幅が3mm以下のものを使用してください。

4-3 安全ワイヤーを壁に取り付けます。

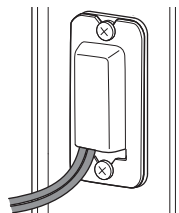
⚠ 注意

安全ワイヤーはスピーカーよりも高い位置にたるみが出ないように取り付けてください。

4-4 結線したユーロブロックプラグを本体のソケットに戻します。



屋外設置の場合は、付属の端子カバーを取り付けます。



NOTE

端子カバーの下の開口部は適切な防水処理を行ってください。

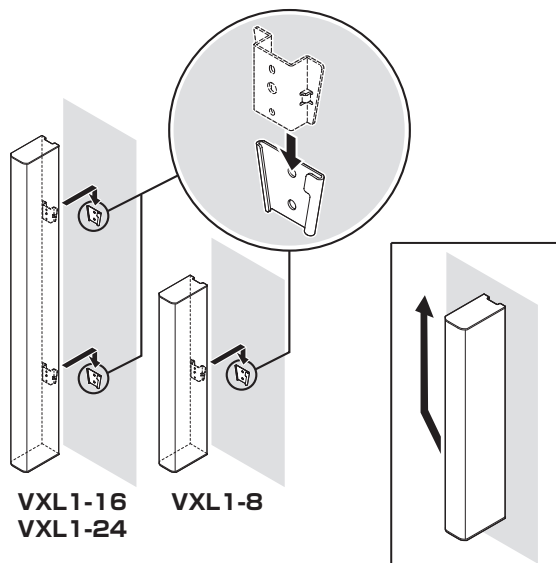
5 スピーカー本体を壁に取り付ける

5-1 ブラケットベースにマウンティングブラケットがかみ合うように上からはめ込みます。奥まで確実ににはめ込んでください。

ご注意

- ・スピーカー本体の真ん中を持って取り付けてください。
- ・(VXL1-24、VXL1-16のみ) マウンティングベースとマウンティングブラケットが、必ず上下2か所にはめ込まれていることを確認してください。

取り外す場合は、左方向に軽く押しながら、スピーカーを持ち上げてください。



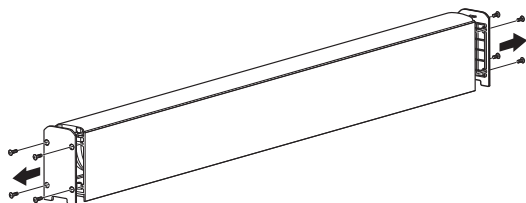
ポートカバーの取り付け (-WR [屋外用モデル] は除く)

IP35相当の防水性能が必要な方は、同梱品のポートカバーを取り付けてください。-WR(屋外用モデル)はそのままのご使用でIP55に準拠しています。

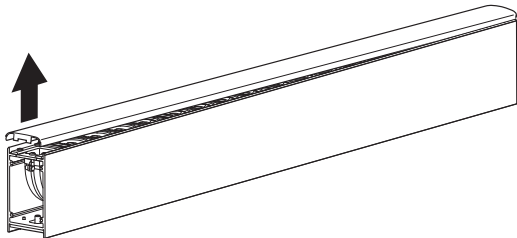
⚠ 注意

グリルを取り外す際に、グリルの端で手を切らないように手袋などをはめて作業してください。

- 1 スピーカーの天面と底面にある4つのネジを取り外し、天板と底板を取り外します。

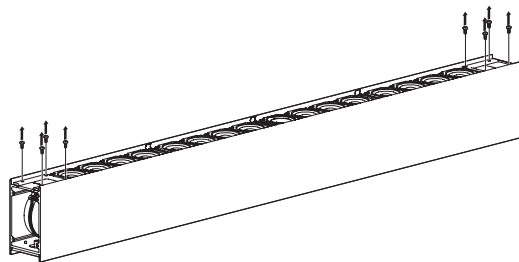


- 2 グリルを傷つけないように注意して、スピーカーからゆっくりと取り外します。

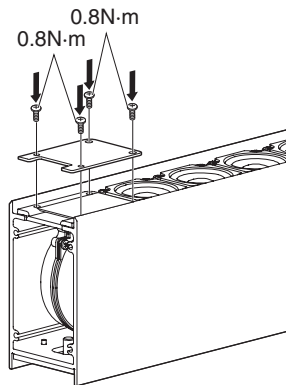


- 3 バスレフポートの4つのネジを取り外します。

VXL1-24/VXL1-16 は、バスレフポートが上下2か所あります。



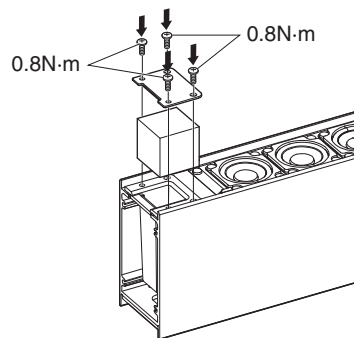
- 4 ポートカバーを合わせて、取り外したネジで固定します。



(VXL1-8 のみ)バスレフポートの中にポートブロックを入れてから、ポートカバーを合わせて取り外したネジで固定します。

NOTE

ポートブロックをポート内に納まるように挿入してください。



5 グリルをスピーカーに取り付けなおします。

このとき、スピーカーの端とグリル位置を合わせてはめ込んでください。

6 天板と底板を取り外したネジで固定します。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼お問い合わせは、お買い上げの販売店、またはこの施工説明書(以下本書)に記載の修理ご相談センターにご連絡ください。

本書は、保証書の役割を兼ねています。購入を証明する書類(領収書や納品書など、製品名、品番、お買い上げ日、販売店名が記載されたもの)とあわせて、大切に保管してください。保証期間内に万一本製品が故障した場合には、購入を証明する書類をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。下記の保証規定に基づいて無料修理を行うことをお約束します。

[持込修理]

保証書				
製品名	スピーカーシステム	品番		製造番号
お買い上げ日	年 月 日			
保証期間	(お買い上げ日から)1年間			
販売店名				

保証規定

保証期間中、正常なご使用状態のもとで万一発生した故障につきましては、本保証規定に基づき無料修理いたします。

■ 保証期間中でも以下の場合は有料となります。

- 購入を証明する書類(領収書や納品書など、製品名、品番、お買い上げ日、販売店名が記載されたもの)のご提示がない場合
- 納品後、輸送や修理時の取り扱いが適当でないために生じた故障の場合
- 提供されている各説明書や本規定に記載の注意事項に反する取り扱いによって発生した故障の場合
- 故障の原因が本製品以外の機器にある場合
- 塗装面および金属面が経年変化により退色、変色した場合
- 弊社認定の修理サービス技術者以外の者が修理/改造した部分で、その修理/改造が不適当であった場合
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災および公害や電圧異常による故障の場合
- 鼠害、塩害などによる故障、損傷の場合
- 持込修理対象の品番でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

■ 転居・譲渡などを伴う場合、その他注意事項

- 転居、ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、修理ご相談センターにご相談ください。
- 離島および離島に準する遠隔地への出張修理を行う場合の交通費は実費を申し受けます。
- 保証期間内に、本製品を他人に譲渡あるいは転売された場合でも、残存期間は保証いたします。
- 本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only within Japan.)

この保証内容は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。本規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにお問い合わせください。

● 保証期間経過後の修理

修理が可能な場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにご相談ください。

有寿命部品の例: フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

販売元: 株式会社ヤマハミュージックジャパン 音響事業戦略部

〒220-0012 神奈川県横浜西区みなとみらい5丁目1番2号

横浜シンフォステージ ウェストタワー

* 名称、住所は変更になる場合があります。

● 修理のご依頼

本製品に異常が見られた場合は、まず本書をよくお読みのうえ、本製品の状態をお調べください。それでも改善しないときは、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにご連絡ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

● 損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

修理に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターにご連絡ください。

※修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理ご相談センター

フリーダイヤル



0120-149-808

携帯電話、IP電話からは

050-3852-4106

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定休日を除く)

FAX

● 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海): 03-5762-2125

● 西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄): 06-6649-9340

◆ 修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定休日を除く)

※お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

● 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT京浜E棟A-5F

FAX 03-5762-2125

● 西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F

FAX 06-6649-9340

製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記のプロオーディオ・インフォメーションセンターにご連絡ください。

◆ プロオーディオ・インフォメーションセンター

フリーダイヤル



0120-016-808

携帯電話、IP電話からは

050-3852-4471

受付 月曜日～金曜日 11:00～17:00 (祝日、センター指定休日を除く)

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

※名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

ヤマハ サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>



ヤマハ楽器音響製品お客様サポート
LINE公式アカウント



ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>

ASCSCEPABS01

雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司

上海市静安区新闻路1818号云和大厦2楼

客户服务热线：4000517700

公司网址：<https://www.yamaha.com.cn>

制造商：雅马哈株式会社

制造商地址：日本静冈县滨松市中央区中泽町10-1

进口商：雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司

进口商地址：上海市静安区新闻路1818号云和大厦2楼

原产地：印度尼西亚

台灣山葉音樂股份有限公司

YAMAHA MUSIC & ELECTRONICS TAIWAN CO., LTD.

<https://tw.yamaha.com>

總公司: (02) 7741-8888 新北市板橋區遠東路1號2樓

客服專線: 0809-091388

原產地：印尼

Yamaha Pro Audio global website
<https://www.yamahaproaudio.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

© 2024 Yamaha Corporation

Published 03/2025

2025年3月发行

CREI-B0



VJF4500